

とんがらし通信

～すべりだい愛好会

始めました～

No.258

～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・活動紹介（奈美まつり、水族館ほか）
- ・非常勤研修、チーフ研修
- ・Close-up！
- ・職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2022年7月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



防衛力の増強と、借金まみれの日本 の巻

前号のとんがらし通信発行から2か月。大きな出来事が次々と起こり、とても考えさせられる2か月でした。

7月8日、安倍晋三元首相が参院選の応援演説中に銃撃され、死亡するという痛ましい事件が起きました。これまでも政治家が暴漢に襲われるという事件はありましたが、現代の日本で銃によって総理大臣経験者が殺害された衝撃は大きく、国民の耳目を集めました。総理大臣を辞してなお現職閣僚に大きな影響力を持ち続けた安倍元首相ですが、突然の訃報にメディアの対応も過熱気味で、総理時代の功績を礼賛する論調が目立つのには違和感を覚えます。たしかに強烈なリーダーシップと巧みなパフォーマンスで外交を中心に大きな功績を残したことに間違いはありません。しかし一方で『加計学園問題』や『桜を見る会問題』など数多くの疑惑も取り沙汰されました。中でも『森友学園問題』は実際に二人の大切な命が犠牲になっている大変重いできごとです。国会で『私や妻が関係しているということがあれば首相も国会議員も辞める』と言いきった安倍元首相には、いつか本人の口から説明や謝罪が聞きたかったのですが、今となってはそれも叶わないのが残念でなりません。

その安倍元首相が強く推し進めようとしていたのが、憲法9条の改正とともに防衛費の大幅な増額でした。以前から繰り返し書いていますが、日米同盟の強化を盾にこれまでも日本はアメリカの言うなりに戦闘機を購入し、基地移転費を支出し、思いやり予算を計上し続けてきました。野党による再三の追求にもかかわらず、防衛費は右肩上がり続けています。国民の世論もこの状況にはNO！を突き付けていたのですが…。しかし…。

政府は先日、経済財政運営の指針『骨太の方針』を閣議決定し、防衛力を5年以内に抜本的に強化する方針を明記しました。これは防衛費を、現在のGDP比1%から2%へ倍増させることを意味します。岸田首相はこれまで、防衛力強化については『国民の命や暮らしを守るには何が必要なのか、具体的に現実的に議論ししっかり積み上げる』として、具体的な数値目標の設定に慎重な姿勢を繰り返していました。しかし、手のひらを返したようにこの度の骨太の方針に数値目標を盛り込んだのは、政権の基盤を安定させるために安倍元首相との関係性を考慮したためと言われています。そして、ロシアによるウクライナ侵攻という現在の世界的情勢を反映したように、世論も防衛力強化に同調し始めています。最新の世論調査によると、政府のこの方針に対する賛成が、各社とも5割を超えていることが分かりました。

防衛費のGDP比2%への増額とは具体的にどういうことなのでしょう。令和4年度の防衛費の当初予算は5兆4,005億円でGDP比は約1%です。つまり、GDP比2%に増額すると、新たに年5兆円以上が必要になる計算です。政府はその財源を明確にしておらず、議論を先延ばしにしていますが、おそらくはまた国債発行によって賄うことになるのでしょう。日本の国債の発行額は増減を繰り返していますが、未曾有の新型コロナウイルス感染症対応などもあり令和2年度に初めて100兆円を超えました。一方、残高の累計は増額の一途をたどり、令和4年度の普通国債の残高は1,026兆円を見込んでいます。さらに国債を含む日本の借金残高は1,241兆円と、過去最高を更新しました。これはGDP比250%を超え、主要先進国の中で最も高い水準になっています。単純計算すると、生まれたばかりの赤ちゃんから100歳を超える高齢者までの国民一人当たりが1,000万円以上の借金を背負っていることと同義なのです。

事程左様に借金まみれの我が国にあって、それでもなお借金をしながら防衛装備品を購入し、思いやり予算を計上し続ける意味とはいったい何なのでしょう。政府の骨太の方針について、一部の党を除き野党が賛成に回りました。ウクライナ侵攻を受けて国民の危機感に配慮したと言えは聞こえはいいですが、参院選を目前に控え、節操がないと私には映りました。『目には目を、歯には歯を』では世界秩序は守られない。外交による一貫した態度の表明こそが、現在の世界に求められる日本の姿勢なのではないかと思えます。

(管理者 山口 収)

仙台つどいの家音楽会 ARTWAY DUO コンサート



7月6日、実に3年ぶりに「仙台つどいの家音楽会」を開催しました。久しぶりの音楽会にお招きしたのはやっぱりアートウェイデオのお二人です。感染症流行前から何度も演奏しに来て下さっているお二人ですが、3年ぶりの再会に入口で迎えた奥津さんと涙を流して喜びあってくださいました。演奏がはじまると本物の音楽にみんなうっとり。美しい音色に自然と手拍子を始める達紀さん。耳を傾け、音色を追い



かける様子の美空さん、思わず立ち上がり、曲に合わせて満面の笑顔で足踏みする勝一さん。演奏が進むにつれて、会場の雰囲気は花が咲くように明るく変わっていきましました。来場して下さった地域の皆さまと、ご家族がそんな会場の笑顔を暖かく見守るひととき。まるでコロナ以前の仙台つどいの家に戻ってきたかのような感動的な瞬間でした。やっぱり音楽のちからってすごい！ヘンリさん、順子さん本当にありがとうございます！またお待ちしております（涙）（記：堀内）



奈美まつり 2022

今年度の奈美まつりは、7月に開催ということでテーマは七夕に！
準備の時には、壁一面に飾られたキラキラとした星を見てニコニコと笑顔になっている奈美さん。けやきのメンバーもそれぞれに願いごと決めて準備万端！！午前は、奈美さんの大好きな松田聖子メドレーとともに奈美織姫が登場♪ですが、足取りが重い様子の奈美さん... 途中椅子に座りながらも、みんなの願いごとが書いてある星を集めて回りました。他グループの浴衣やレースハチマキで盛装した織姫&彦星とばしゃり！！みんなの願いごとを天の川まで運んだ奈美さんは、達成感に満ち溢れていました。午後からは、抽選会！奈美織姫による「織姫&彦星の特別賞」と「各グループへのプレゼント」の抽選が行われました。奈美さんからのプレゼントにみんな思わず笑みがこぼれていました。



最後には、全員で集合写真！奈美さんを中心にたくさんの笑顔であふれる1枚となりました！グループの枠を越えてたくさんの人と関わることのできる奈美まつり。はじめは曇った表情が見られた奈美さんも、1日の写真をじーっと見て、にこやかな表情になっていました。（記：二階堂）



湖畔公園へGO！！

5月24日にさんしょグループで、みちのく杜の湖畔公園へ行ってきました。斎健二さんは、行きの車の中からニコニコ笑顔で外出を楽しみにしている様子でした。加藤剛さんも、久しぶりのドライブが楽しかったようで、「アハハ」と声を出して笑っていました。

湖畔公園に到着し、園内をお散歩しました。お天気も良く、ポピーが満開でとても綺麗でした🌻ポピーをバックにみんなで写真を撮ってきました。

昼食は、買っていったカレーやサンドイッチを外で食べました。早川奈津子さんは、サンドイッチを食べて「おいしい〜！」と何度も手を挙げていました。心地良い風を感じながらの昼食は美味しかったようで、みなさん大満足な様子でした。コロナの感染状況をみながらの外出でしたが、久しぶりに大きな公園へ1日外出することができて良かったです。またお出かけしましょうね！

(記:佐藤唯)



うみの杜水族館へ行ってきました

新型コロナウイルスが蔓延して、外出を自粛していましたが、少し落ち着いたので、うみの杜水族館へ行きました。外出らしい外出は久しぶり！ワクワクしている方、不安げな方それぞれの表情で水族館へ向かいました。

水族館へ着くと、早速イルカ・アシカのショーを観ました。目の前でイルカがクルクル回ったり高くジャンプをする様子を見て、声を出して笑う翠さん。「きれいだったね〜。うふふ。」と、にこにこ笑顔の安奈さん。大興奮で手を伸ばしたり、拍手を送る奈美さん... ショーの後は、昼食です。アザラシを見ながらの外食は格別。腹ごしらえの後は、ゆっくりと館内を回りました。サービス精神旺盛のイロワケイルカやペンギンがこちらへ挨拶する様子や大量の鯉に餌をあげしぶきを上げる様子を楽しんだり、人気のチンアナゴコーナーでちょこんと顔を出している姿を見て笑ったり、水族館を満喫しました。久しぶりの外出で、施設内では見られない表情をたくさん見ることができ、その場でしか味わえない体験をもっともっとしたいなと改めて思いました。(記:安藤)





くるみのじゃがいも ～夏編～

前月号でご紹介しましたが、くるみグループが今年育てているじゃがいも「キタアカリ」を早くも収穫しました！

欣也さんや愛子さんが来る日も来る日も水をやり、晴天にも恵まれ豊作です！収穫した際、小さな芋から大きな芋まで大きさは不揃いでしたが、品田さんが「赤ちゃん芋はかわいいけど、味がいいんだよ」とお話をされていました。厨房で毎日美味しい給食を作ってくれるゆき子さんからも「今年はじゃがいもが不作だから、分けてくれ～！」と言われましたが、レンジでじゃがバターにして美味しく食べることに・・・。



最初はくるみメンバーで食べていましたが美味しそうな匂いにつられて、けやき的美奈さんや有さんも食べに来てくれました。

美奈さんは「もっと食べる」とおかわりもしています。皆でお腹一杯食べましたが、たくさん植えたのでまだ収穫が出来そうです。

次は何にして食べようか。カレーにしようかな？

(記：松原)



ジュンベリージャム！？

ある日のことです、智昭さんが「さんしょの前にある木に実がなっているけど、調べたらジュンベリーって名前らしくて、ジャムにできないかな??」とお話がありました・・・。



そこは私にお任せくださいとめいぶるのゆかりさん！！まず収穫をして・・・。でもジャムにするには量が少なく、ソースを作ることにしました(^)/完成したら、レアチーズケーキに

かけて見栄えもおっけー！！

試食はもちろん教えてくれた智昭さんに。「甘酸っぱくておいしいね」と感想をいただきました。ゆかりさんも嬉しそう！！

また新しい味を求めて、ゆかりさんのジャムづくりは続きます！

(記：高橋)



全体千一フ研修

6月、全事業所のチーフを対象にした「全体チーフ研修」に参加しました。

「コペル」「アプリ」などの通所系は勿論、グループホームや相談支援事業など様々な視点からの意見が聞けて、有意義な時間となりました。

テーマは「地域とのつながり」と「本人中心支援について」です。

「地域とのつながり」はつどいの家にとって切っても切り離せないものとなっていて、外にどんどん出ていき沢山の人と触れ合っていくことによって固有の存在として顔と名前を覚えてもらい、その人らしい生活が送れるようになることにつながります。東日本大震災で甚大な被害がありましたが、普段から地域の方と関わっていったことによって多くの方に助けてもらうことが出来ました。また、イベントなどを通して幼少期から関わっていくことによって、しょうがいのある方への理解が深まっていくことに繋がります。

「本人中心支援」については、通所系では「個別支援計画」の話が中心となっていました。生活の場となっているグループホームでは「利用者の体調を整えていく事が本人の自己実現につながっていく」との意見がありました。

それぞれの事業所の視点があり、とても有意義な研修となりました。

これからも色々な観点からしょうがいのある方の生活を支えていければと思いました。

(記：松原)

非常勤職員研修を開催しました！

7月1日に非常勤職員を対象にWEB配信での研修を行いました。今回は、自閉症ピアリングセンター「ここねっとさん」から当事者の方をお招きし、実際に感じている社会の中での感覚や生活上の苦勞をお聞きしました。講演を聞いてみて、日常的に関わっている自閉傾向のある利用者さんへの支援で「傾向があるから」という理由だけで、自閉症支援の形にはめ込もうとしていた場面があったと痛感することがありました。まずは、その方のことをより知る事。どのような伝え方が一番本人にとって受け取りやすいのか、発信しやすいのか。どのように見えてい

るのか……。その方々の本当の想いに寄り添いながら支援をしていきたいと感じました。午後は、講演を踏まえて「今、自分たちがぶつかっている支援の壁」を書き出して話し合い、共有するグループワークを行いました。日中支援事業から、グループホーム、日中一時やショートステイ、送迎中など沢山の場での悩みや課題を話し合いました。参加者からは「なかなか話し合えることができないメンバーでの話し合いで新鮮だった。」「様々な場でも同じような悩み、共通点があると知った。」などのお言葉をいただきました。今後も、お互いの業務内容や悩みを共有しながら法人全体で支援していきたいですね。

(記：高橋)

Close-up!

岩佐美奈さん

今回の close-up は、けやきグループの岩佐美奈さんです♪

【好きなこと】

- 音楽
- クイズ
- お話

【苦手なこと】

- 場面の切り替え
- 場所の移動
- 大きな声や音

美奈さんはいろいろな魅力のある方です。人とお話しするの



がとても大好きで、誰とでもすぐにお友達

になれる魅力を持っています。また音楽も大好きで、クラシックから歌謡曲まで幅広く音楽を楽しんでいます。つどいの家のみんなの名前と、その人が好きな音楽を覚えているなど記憶力が優れているのも美奈さんの魅力の一つになっています。

美奈さんから「お名前なんですか?」、「好きな曲は何ですか?」と聞かれたときは、ぜひ答えてあげてください。そこから美奈さんとの二人の世界が広がり、きっと楽しめることでしょう(^_^)



(記：菊地&栗栖)

職員コラム

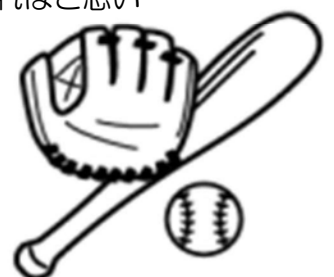
今回は…早坂瑞規さんです！

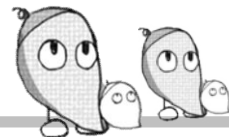
今年の4月より入職しました、新人の早坂瑞規（はやさかみずき）です。出身は宮城県仙台市で、羽生結弦さんやダルビッシュ有さんが在籍されていた、東北高校がある泉ピレジに住んでいます。周りは山々に囲まれており、たまに野生の動物（クマ、カモシカ、イノシシ等）と遭遇することがあります（笑）。

学生時代は、小学生から高校生まで陸上競技を続けてきた経験があり、走ることはとても好きで、今でも休みの日は町内をランニングして運動しています。

私の趣味は野球観戦やアニメ鑑賞で、野球観戦は主に楽天戦を中心にテレビで観ています。コロナ禍前は家族や友人と球場に観戦しに行き、ユニフォームを着て選手の応援歌や球団歌を熱唱して楽しんでいました。アニメ鑑賞は、YouTube や Netflix で、ドラゴンボールやワンパンマン等の、ジャンプ系統の作品を観て楽しんでいます。

仙台つどいの家でも、活動の中で一緒に応援やアニメを鑑賞する機会があればと思います。こんな私ですが、どうぞよろしくお願ひいたします！（記：早坂）





スケジュール schedule

令和4年 8月

- 4日(木) 音楽療法
- 6日(土) 夏まつり⇒中止になりました!
- 7日(日) 職員採用試験
- 10日(水) 仙つ権利擁護委員会
- 12日(金) フードドライブ
- 15日(月) 防災ネットワーク訓練
- 18日(木) ケース会議 13:30 降所
- 23日(火) 施設懇談会
- 25日(木) 職員会議 音楽療法
- 30日(火) 内部研修



令和4年 9月

- 1日(木) 音楽療法
- 2日(金) 法人衛生委員会
- 5日(月) ケース会議 13:30 降所
- 8日(木) 成人を祝う会 (大野夏海さん)
- 9日(金) フードドライブ
仙つ権利擁護委員会
- 15日(木) 4所合同施設懇談会 防災訓練
- 17日(土) 休日開館日 (もみじ)
- 20日(火) ケース会議 13:30 降所
- 21日(金) 施設懇談会
- 22日(木) 音楽療法
- 23日(金) 休日開館日 (めいぷる)
- 26日(月) 職員会議

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(5月14日～7月12日まで)

吉田さん、森谷さん、斎藤さん、立花さん、
稲田さん

見学・来訪者など

宮城大学伊藤さん、音楽療法向井田先生、生け花浜谷先生、鶴谷支援学校の先生、各区分調査員の方、後援会針持会長、高橋副会長、西多賀支援学校の先生、小松島支援学校の先生、有本さん(見学)、山影さん(見学)、小松島支援学校反怖さん、和妻さん、西園さん、鶴谷支援学校藤原さん、杜の都産業保健会、ヤクルト、アグリ仙台、ほまれフーズ、マルイ、マルキ水産、サトー商会、ダスキン、東北食材、千葉商店、まんさく工房、JCI、生活空間工房、バイタルネット、風の郷工房、アグリ仙台

法人職員：佐藤清理事長、大累、佐藤(吉)、飯田、門真、佐々木健、小原、高橋、古高、高嶋、片桐、福地、鈴木、小野
ほか多数
(以上、ご芳名順不同)

缶回収 7月分の納品額

合計 4,350 円でした。

ご協力ありがとうございました。



編集後記

あっという間に梅雨が明けたと思ったら、梅雨が戻ってきたかのような蒸し暑い日が続いていますね。梅雨前の寒暖差があるよりはいいのかな…なんて思ったりもしますが、暑いのもつらい！今年の暑さもアイスと冷麺で乗り切ろうと思う日々です(笑)

(記：阿部)